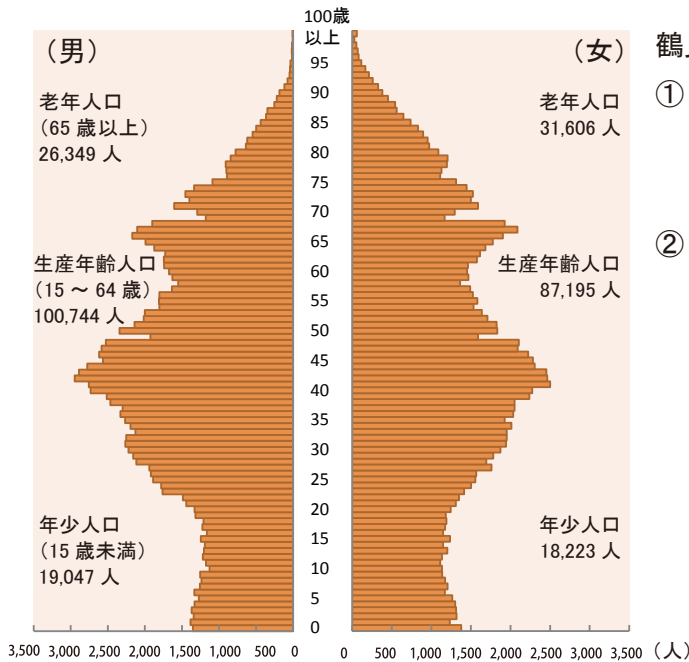


## 2 年齢別人口の状況

鶴見区人口ピラミッド (H27.10.1 現在)



鶴見区の人人口ピラミッドには大きく2つの特徴があります。

- ① 40歳代前半の第二次ベビーブーム時期の人口が、65歳前後の第一次ベビーブーム時期の人口より大きな山を描いています。
- ② 0～10歳までの人口が増加しており、ピラミッドの裾野が全国及び横浜市のピラミッドに比べて広がっています。

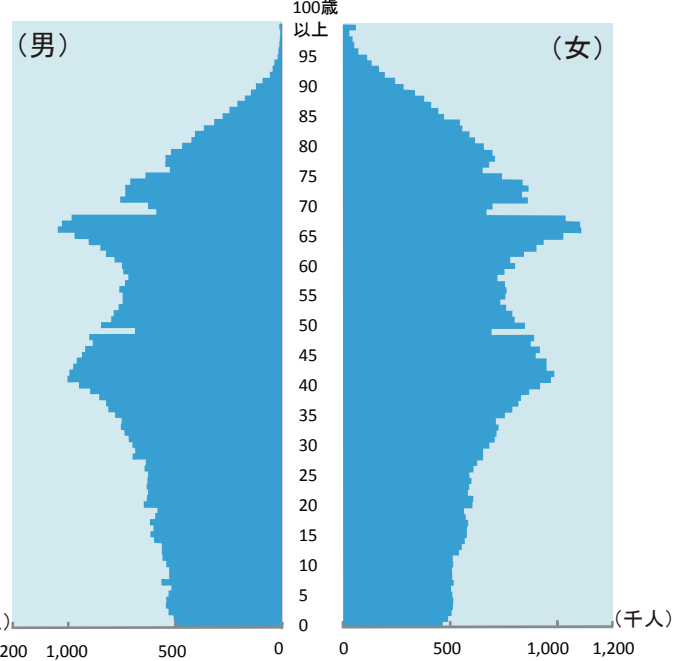
鶴見区は年少人口が増加の傾向にあるんだね！



横浜市人口ピラミッド (H27.10.1 現在)



全国人口ピラミッド (H27.10.1 現在)



### COLUMN 平成 27 年国勢調査の結果

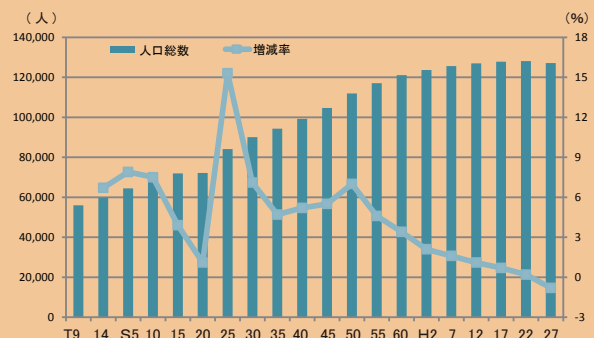
昨年行われた国勢調査の結果の一部が平成 28 年 10 月 26 日に公表されました。

平成 27 年 10 月 1 日現在の全国の人口は1億 2709 万5千人となり、前回調査の平成 22 年と比べると、人口は 96 万3千人減少し、大正9年の調査開始以来、初めての人口減少となりました。

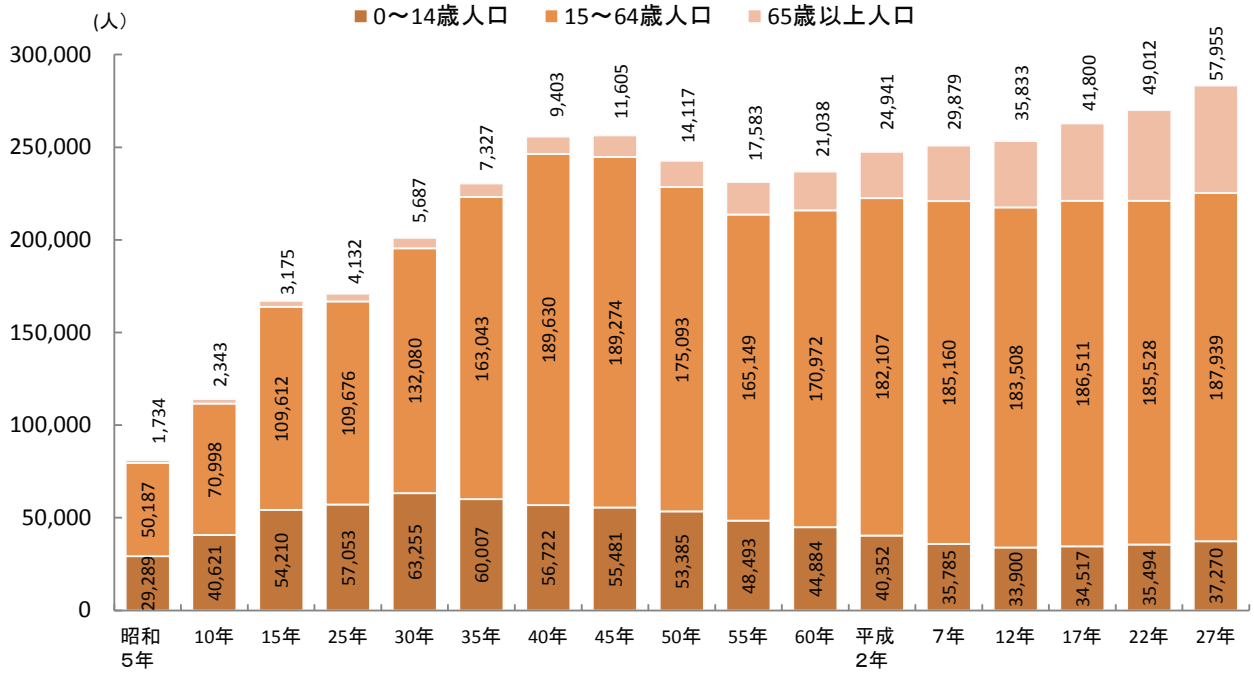
国勢調査の結果は総務省統計局のホームページに掲載されています。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

調査に御協力いただき、ありがとうございました



## ● 年齢3区分別人口の推移



※国勢調査の結果数値（各年10月1日現在）

年齢3区分別人口をみると、老年人口の増加が進んでおり、平成12年に0～14歳の年少人口と、65歳以上の老年人口の数が逆転したあと、近年その差が広がる傾向にあります。また、0～14歳の年少人口は、昭和30年以降減少してはいましたが、平成12年以降は、微増しています。



65歳以上の老年人口が少しずつ増えているね。

Have a break



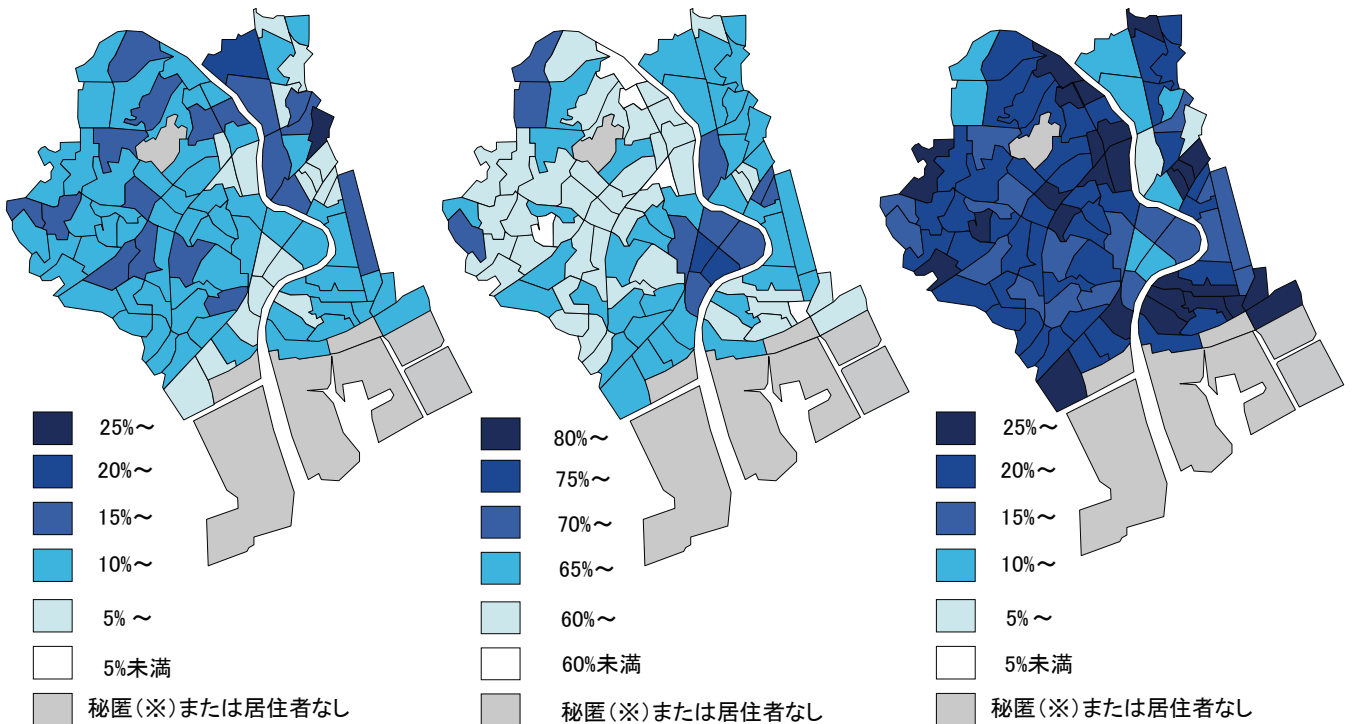
## 地図で見る鶴見 ～年少・生産年齢・老年の各人口比率～

住民基本台帳等（H28年3月31日現在）※大黒ふ頭、扇島は省略しています

年少人口（15歳未満）人口比率

生産年齢人口（15～64歳）人口比率

老年人口（65歳以上）人口比率



(※) データを示すことで個人が特定される恐れのあるものは「秘匿」としています。